

RSV ワクチンの説明書 商品名：アブリスボ筋注用[組み換え RS ウイルスワクチン]

1. RS ウイルスについて

RS ウイルス (RSV) は、乳児及び高齢者の呼吸器感染症の主な原因の一つであり、生後数か月までの乳児に感染した場合には基礎疾患の有無にかかわらず、概して重症化しやすく、細気管支炎や肺炎を引きおこし、入院や死亡といった重篤な転帰に至ることもあります。また、高齢者等では、気管支炎や肺炎等の重症感染症を引き起こすことがあり、さらに慢性閉塞性肺疾患 (COPD) やうっ血性心不全等の併存疾患を有する高齢者では RSV 疾患の重症化リスクが高く、入院や死亡といった重篤な転帰に至ることもあります。

2. アブリスボ筋注用とは

- このワクチンを 60 歳以上の人に接種することにより RS ウイルスに対する抗体がつけられ、RS ウイルスによる感染症を防ぐことができます。
- このワクチンの予防効果の持続期間に関するデータは得られていません。
接種量および回数：1 回 0.5ml を筋肉内に接種します。

3. 接種対象者

• 「アブリスボ筋注用」には『妊婦への能動免疫による新生児および乳児における RS ウイルスを原因とする下気道疾患の予防』という適応もありますが、渡航ワクチン外来では、**海外渡航を目的とする 60 歳以上の成人のみを対象**としています。

60 歳以上の成人を対象とした RS ウイルスワクチンとして「アレックスビー筋注用」(GSK) も流通していますが、福山市民病院は採用していません。

- 「アブリスボ筋注用」については、他のワクチンとの同時接種を行わない方針です。

4. 副反応

主な副反応として、注射部位反応（疼痛、紅斑、腫脹）、頭痛、筋肉痛などが報告されています。稀な副反応として、呼吸困難、顔面が蒼白になる、じんま疹[ショック、アナフィラキシー]があります。

5. 諸注意

併用注意：百日せき菌の防御抗原を有するワクチン (Tdap) の単独接種と比べて本剤の同時接種で百日せき菌の防御抗原に対する免疫応答が低下するとの報告があります。

6. 健康被害が生じた場合

PMDA による公的救済制度の適応です。